

農林水産部



約60名の住民が参加

協議会の取組による体験事業の取組
地域住民参加による体験事業
域の特性を考慮した地域住民参加によるモデル的な体験事業を行っています。

「バイオマスの集い」(八重山地区)を開催
(1月17日、於・石垣市商工会館)
琉球大学農学部の川満教授、バイオマスタウンアンドバイザー永利氏、沖縄総合事務局の藤田課長補佐から、バイオマス利活用の重要性、支援策等について情報提供を行いました。

沖縄バイオマス発見活用協議会の活動

おきなわマラソンでバイオ燃料車が走行
(2月22日、於・本島中部)
農林水産省事業「環境バイオマス総合対策推進事業」の一環として、バイオタノール混合ガソリン(E3ガソリン)を使用した先導車で走行しました。



「西原町の産業まつり」におけるエコイベント (西原町の産業まつり実行委員会)

西原町の産業まつり(1月31日～2月1日)において、電気設備の動力全てを町内で製造されたバイオディーゼル燃料でまかなっていました。CO₂排出を抑制することから、環境に配慮した取組として評価されました。



バイオマス利活用に関するパネル展示や廃食用油を利用したキャンドルづくり体験を行いました。
また、廃食用油の持参を呼びかけました。

バイオディーゼル発電機。2日間のイベントで排出を抑制されたCO₂は約1トン!

伊平屋村廃食用油利活用体制整備 (グループエコライフ)



子ども達が熱心に取り組みました。

生徒や親に呼びかけて廃食用油を回収し、キャンドルづくり教室を開催しました(12月23日、2月7日)



読谷村バイオディーゼル地域推進事業 (残波かりゆし会)



村内の一般家庭、飲食店等から廃食用油を円滑に回収し、村公用車等に利用する体制づくりを行うこととしています。

飲食店等村内20箇所に廃食用油回収ボックスを設置予定

バイオマス利活用に関するホームページ(沖縄総合事務局)

http://ogb.go.jp/nousui/nourin_kankyou_baiomsu.html



沖縄バイオマス発見活用 協議会の取組を紹介

Point

沖縄におけるバイオマスの利活用促進を図るため、沖縄バイオマス発見活用協議会はNPO「熱帯バイオマス利用研究センター」を中心とし、各種普及・啓発活動を行っています。協議会の活動及び地域住民の参加による体験事業の取組を紹介します。